

**新型コロナウイルス感染症 世界的流行の記録****▶中国武漢で原因不明肺炎の蔓延**

2019年12月、中国武漢市で原因不明の肺炎が報告され、感染拡大が始まった。2020年1月、病原体は新型コロナウイルスと特定され、WHOは「世界的な緊急事態」と宣言した。2月には死亡者数がSARSを超え、国際正式名称はCOVID-19と命名された。3月にWHOは「パンデミック（世界的大流行）」を宣言した。現在では、武漢の症例より以前から世界に広まっていた可能性も指摘されている。

**▶勝浦のホテルで帰国者受け入れ**

1月下旬、武漢滞在の日本人が政府チャーター機で帰国。無症状者の経過観察のため、勝浦市のホテル三日月が宿泊を受け入れた。初めは動揺した市民も、帰国者を激励する動きが広がり、ホテル前の海岸には「心はひとつ、またきてね」という砂文字が書かれ、感動を呼んだ。ビッグひな祭りは感染拡大のため中止。

**▶日本でクルーズ船の集団感染**

1月に横浜を出港し、香港・ベトナム・台湾を周遊したイギリス船籍の「ダイヤモンド・プリンセス号」は、2月に沖縄経由で横浜に帰港。船内で集団感染が確認され、2週間の検疫を実施。下船後、無症状病原体保有者からの感染が国内外で拡大していった。

**▶日本国内の感染拡大**

1月中旬、武漢渡航歴のある中国籍男性が初の陽性確認。2月に初の死亡者が発生、感染者は100人を超えた。下旬には政府から大規模イベントやコンサートの自粛要請。

厚労省クラスター（集団感染）対策班が設置され、対策を検討。3月に「3密（密閉・密集・密接）」を避けるよう発表。東京五輪の延期が決定。感染者数が3,000人を超え、4月に首都圏・関西等の7都府県に緊急事態宣言、中旬には対象を全国に拡大。県境を越える移動の

自粛要請。緊急事態宣言は5月に順次解除。学校は自宅待機となり、卒業式や入学式もなく、授業は大幅に遅れ、修学旅行も縮小となった。経営難の観光・飲食業等の救済支援のため、政府は7月よりGoToキャンペーンを展開するも、状況悪化に伴い中止と再開をくり返す。

12月末から爆発的な感染拡大があり、2021年1月に再び緊急事態宣言を実施。

**▶YOSHIKIさん緊急メッセージ発信**

館山市出身でX JapanのYOSHIKIさんは、アメリカ国内での感染拡大を受け、2020年2月よりロサンゼルスで自宅待機を始め、3月にロックダウン（都市封鎖）となった。

対岸の火事の如く、悠長に構えている日本人はじめ世界中の人びとに向けて、緊急メッセージを発信。3月にノーベル賞受賞の山中伸弥教授とオンライン対談をおこない、各自が事態の深刻さを自覚して、命を守る行動をとるようにと、涙ながらに訴えた。

4月にはアメリカで死亡者が4万人を超えたことを受け、英国BBCにリモート出演し、状況を軽視せず行動自粛するよう全世界に呼びかけた。日本の医療崩壊を危惧し、自身の運営する米国非営利公益法人を通じて、国立国際医療研究センターへ1,000万円を寄付した。

**▶安房地域の感染状況**

4月3日に南房総市で初の感染者発生。7月13日、館山市で無症状病原体保有者の確認。8月中旬以降、家庭や職場の感染が広まる。鴨川市では8月4日に初の感染者発生。各市とも11月頃より急激な増加。12月に南房総市の介護施設でクラスター発生、市境を越えて利用者や職員・家族・集落に感染拡大。鋸南町では1月8日から病院でクラスター発生。

2021年1月16日現在、館山市43名、南房総市38名、鴨川市30名、鋸南町15名の感染者（無症状含む）が報告されている。